

(2) 調査結果

① 探査結果

探査結果は通常の表示方法の他に、深度断面図の相対振幅強度をカラーで表示した断面を作成した。

相対振幅強度とは、断面の各トレースの振幅をその大きさに応じた色で表示したものである。通常の表示では、大きい振幅は隣のトレースの上に描かれるため細部が不明瞭となるが、この表示では細部が明瞭となり、また負の振幅も情報として得られる。なお、この相対振幅強度表示深度断面図は、この位相データのうち零位相に近い部分を黒線で示し、上記の相対振幅強度と併せて表示している。

作成した断面図は以下の通りである。

- 図 3.1.13(1), (2) 重合後時間断面図
- 図 3.1.14(1), (2) マイグレーション後時間断面図
- 図 3.1.15(1) Line1 測線深度断面図 (縦横比 1:1)
- 図 3.1.15(2) Line2 測線深度断面図 (縦横比 2:1)
- 図 3.1.16(1) Line1 測線深度断面図
(相対振幅強度表示+零位相表示; 縦横比 1:1)
- 図 3.1.16(2) Line2 測線深度断面図
(相対振幅強度表示+零位相表示; 縦横比 2:1)
- 図 3.1.17(1) Line1 測線深度断面図
(相対振幅強度表示+零位相表示+P波速度; 縦横比 1:1)
- 図 3.1.17(2) Line2 測線深度断面図
(相対振幅強度表示+零位相表示+P波速度; 縦横比 2:1)

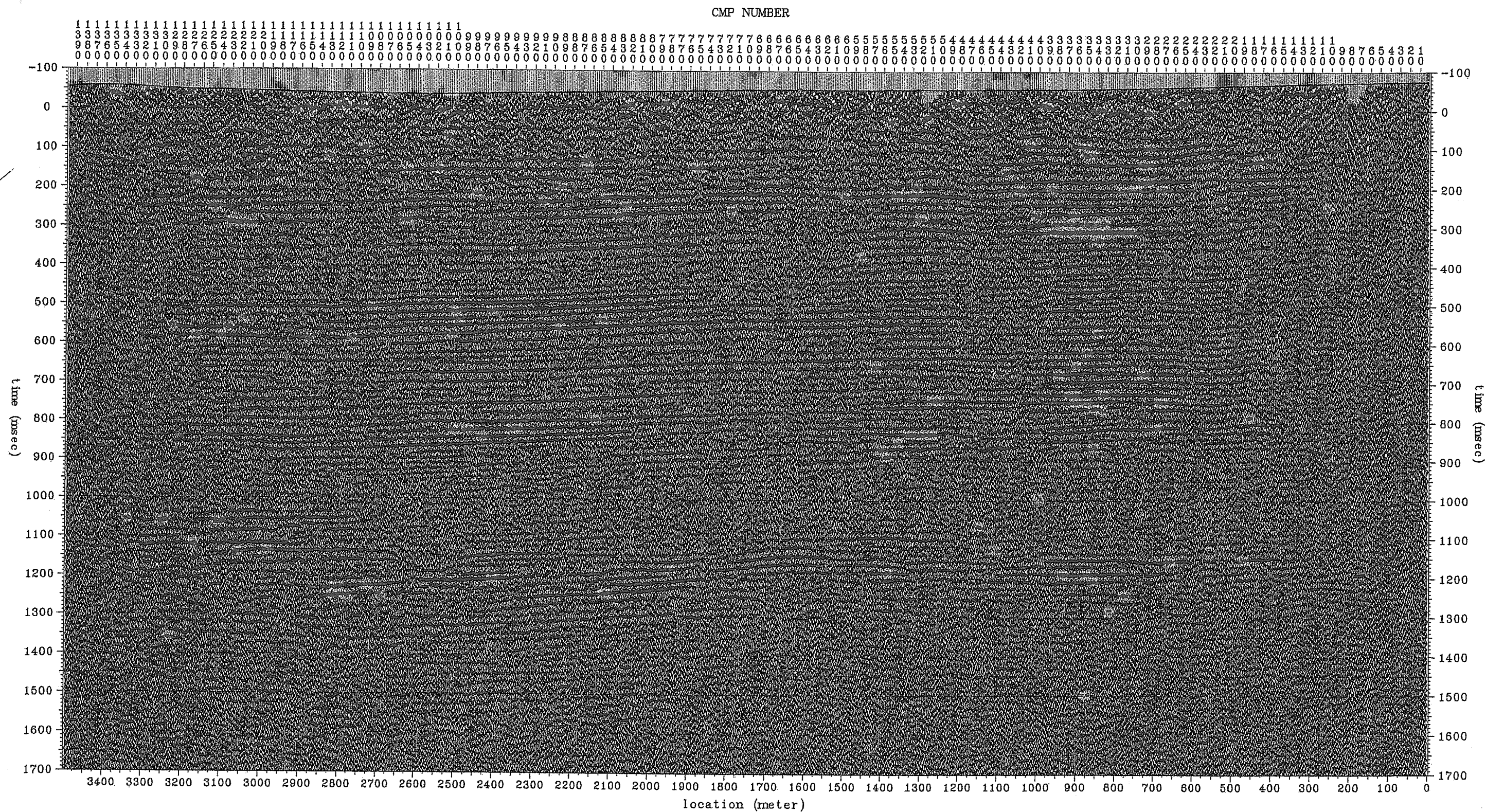


図 3. 1. 13 (1) Line1 測線重合時間断面図

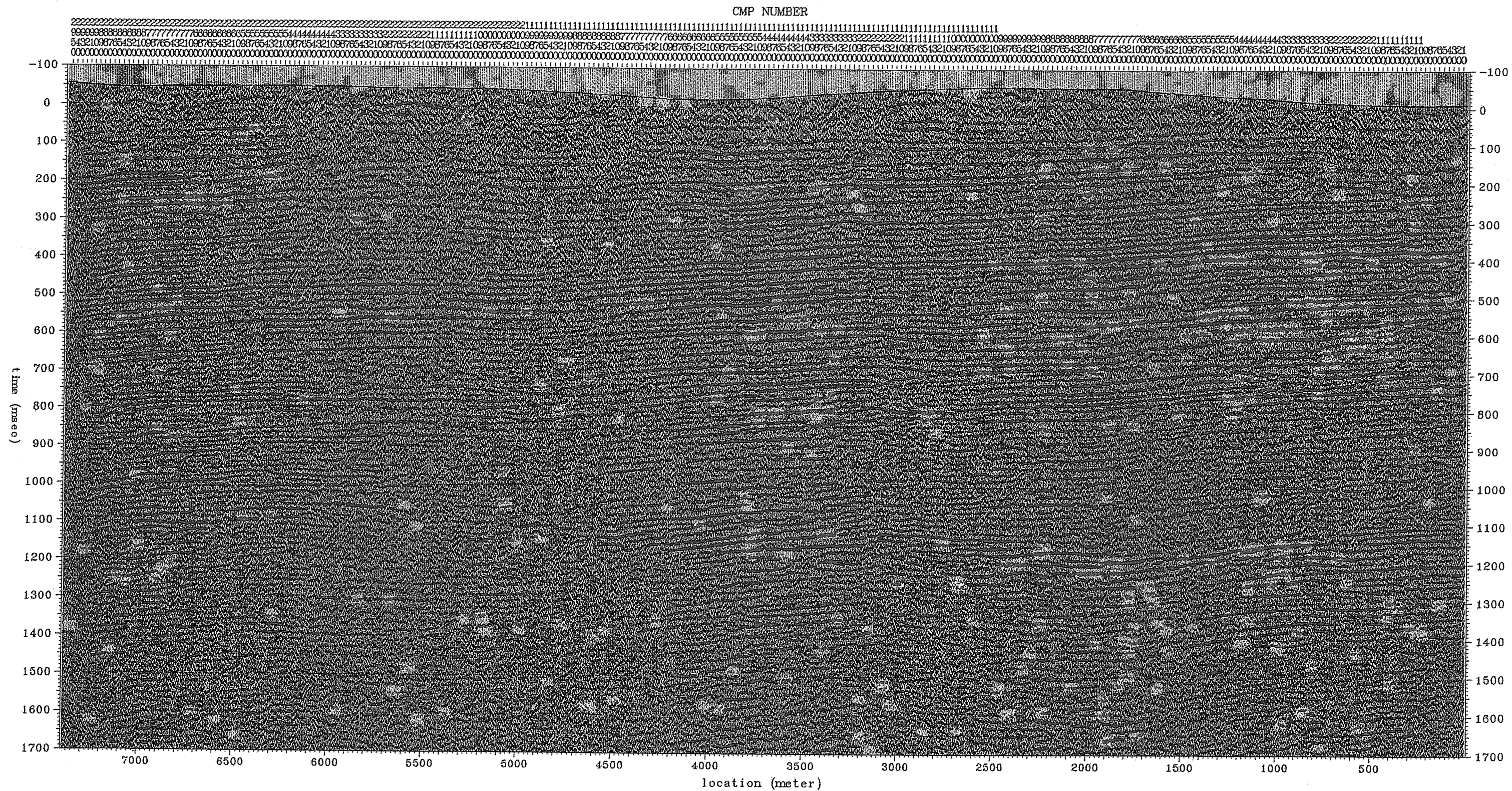


図 3. 1. 13 (2) Line2 測線重合時間断面図

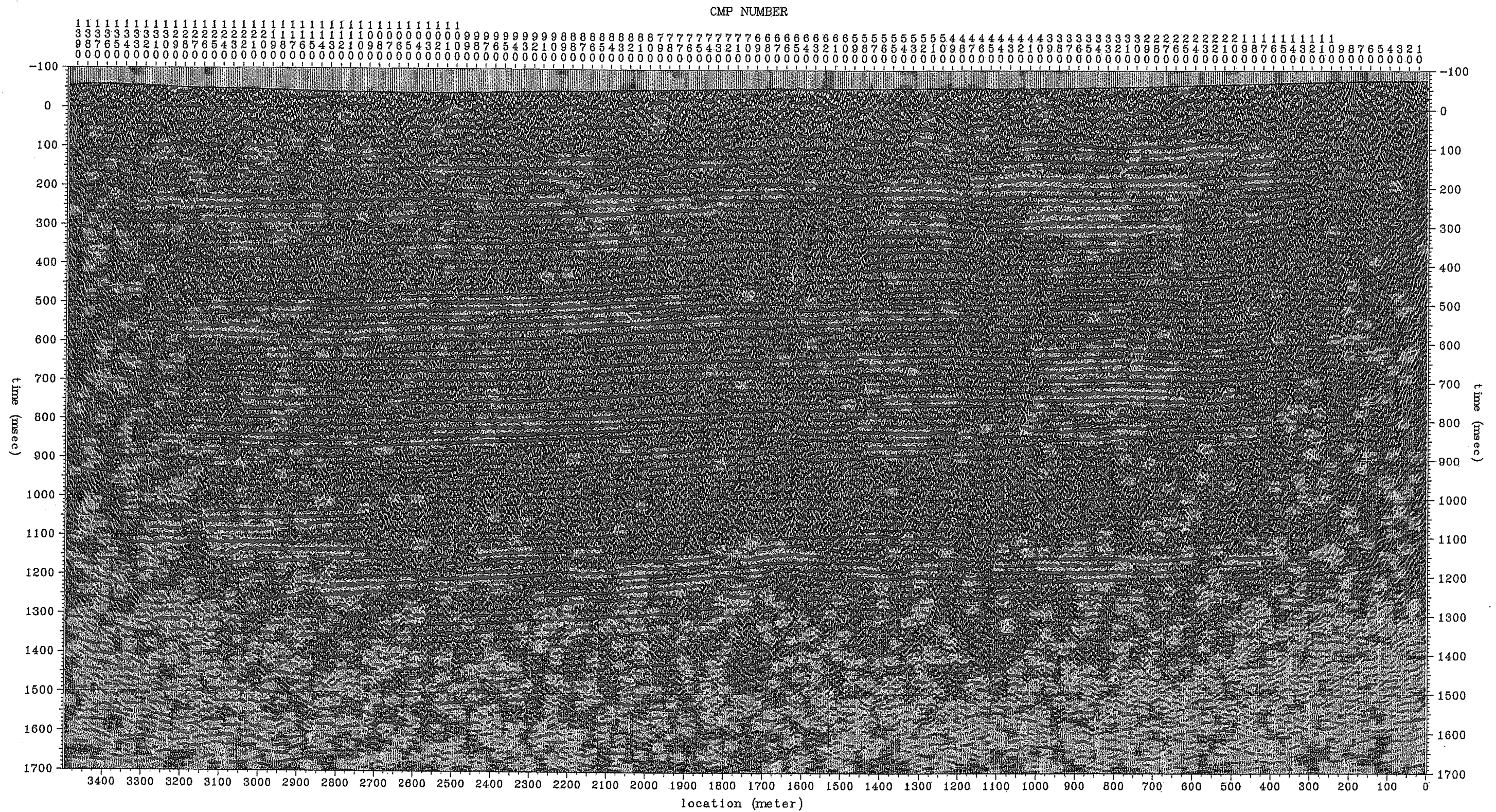


図 3. 1. 14 (1) Line1 測線マイグレーション後時間断面図

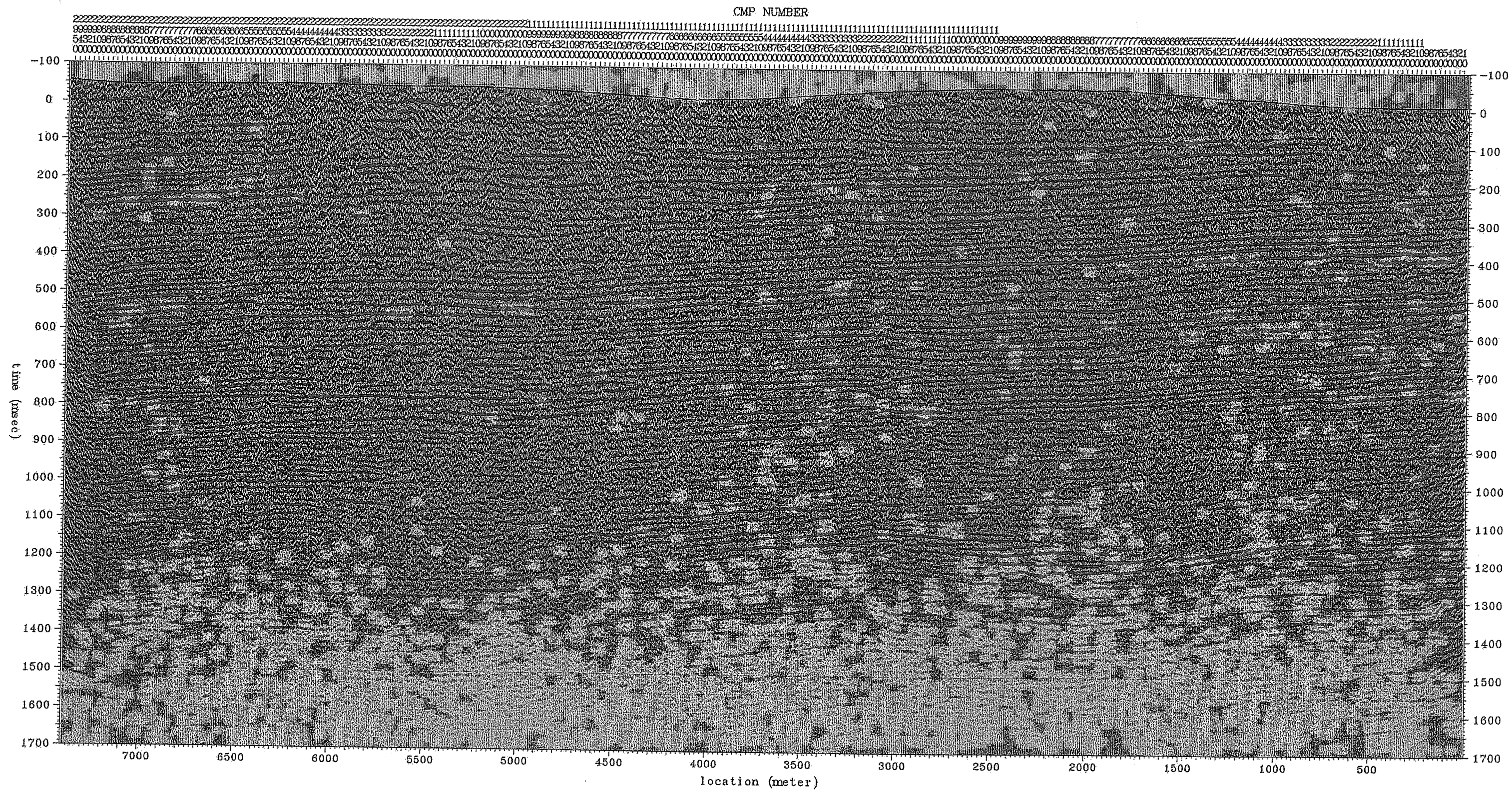


図 3. 1. 14 (2) Line2 測線マイグレーション後時間断面図

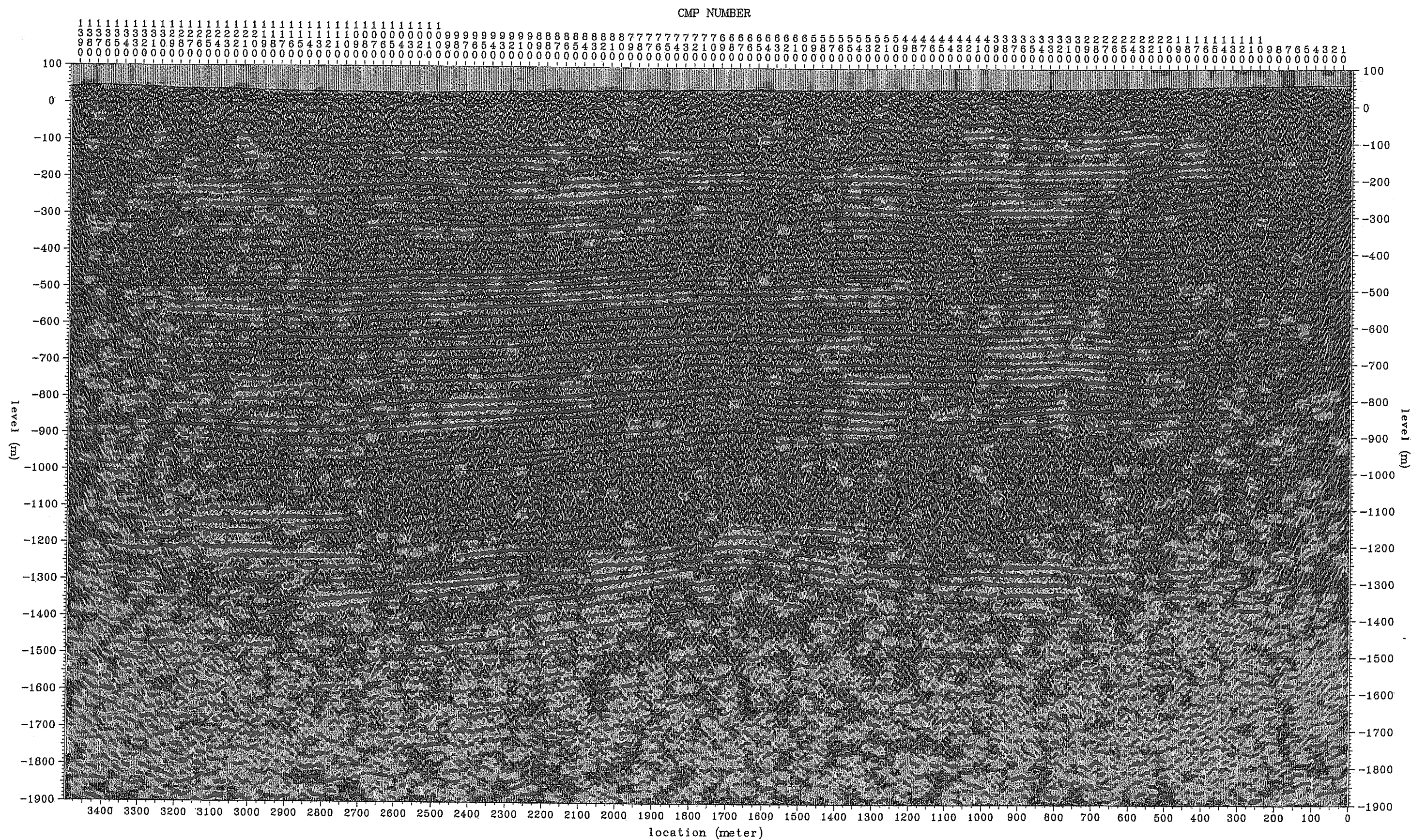


図 3. 1. 15 (1) Line1 測線深度断面図 (縦横比 1:1)

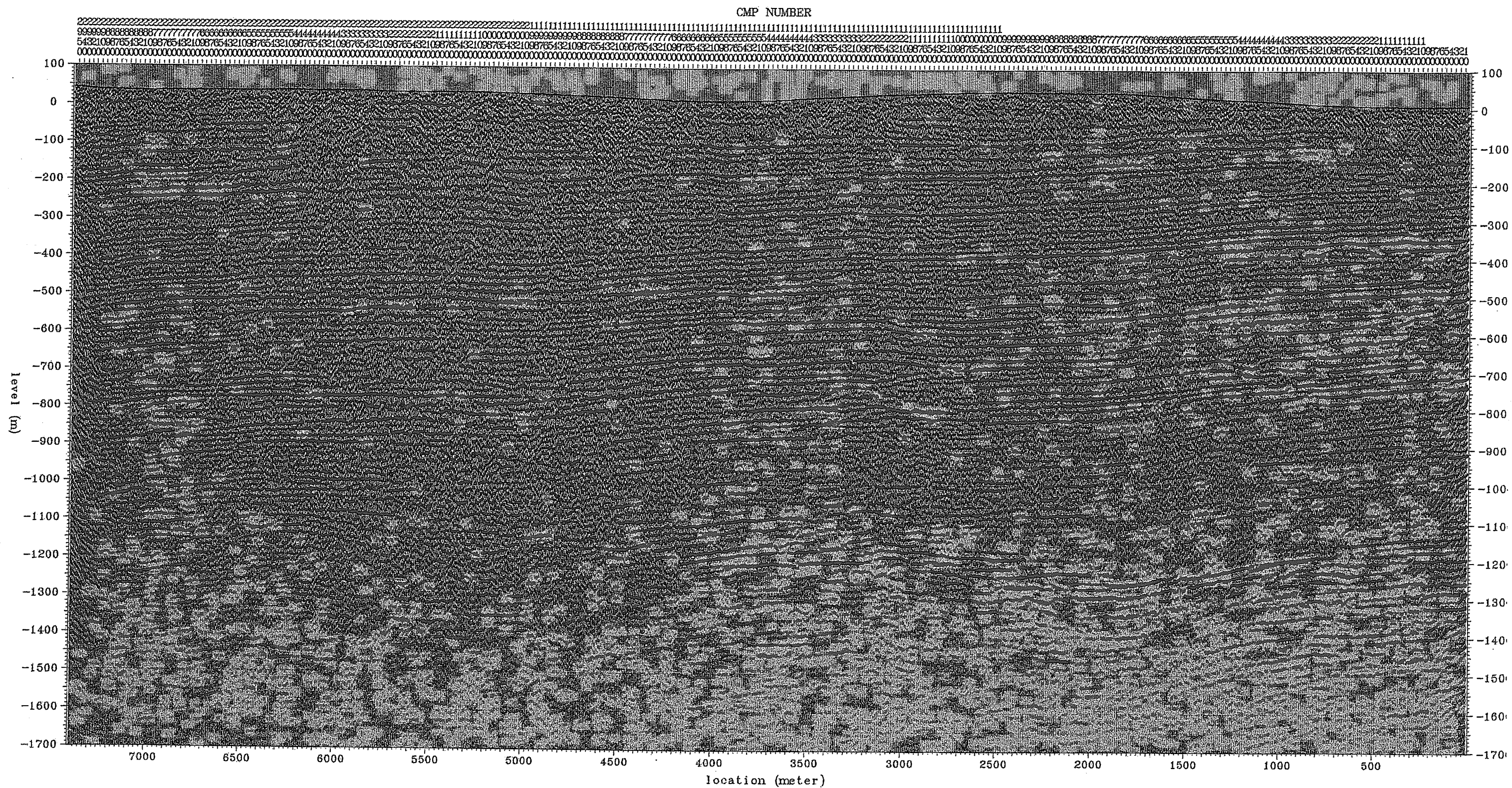


図 3. 1. 15 (2) Line2 測線深度断面図 (縦横比 2:1)